

山形大学医学部附属病院看護部教育構造図

教育理念

人間性を尊重した厳しい倫理観を持ち、看護に対する使命と役割を自覚し、幅広い臨床能力を身につけ看護サービスの質を保証する。実践した看護内容の有効性は、適切に評価することにより一人一人の成長へ発展させる。

獲得目標	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の看護に必要なケアを安全・安楽に実践でき安心した看護が提供できる 2. 看護職員として必要な基本姿勢と態度について理解し自律できる 3. 生態侵襲の高い看護ケアが自立して実践できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を踏まえた個別的な看護ケアが実践できる 2. メンバーシップを発揮しチームの一員として主体的に行動できる 3. 後輩を指導しながら自己の看護行為を振りかえり、看護の知識や技術を深めることができる 4. 日々の実践に研究的視点を持つことができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的根拠や理論に基づいた看護実践ができ、役割モデルとなれる 2. 医療チームの一員としてリーダーシップを発揮できる 3. 後輩・看護学生に対して指導的に関わることができる 4. 主体的に研究に取り組み研究能力を高めることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践において専門的な知識を用い、総合的な判断ができる 2. 部署における課題を明確にし、目標を示しながら問題解決ができる 3. 専門領域における知識・技術を習得して、自発的に能力開発ができる 4. 研究を進め、院内外に広め、臨床で応用できる

